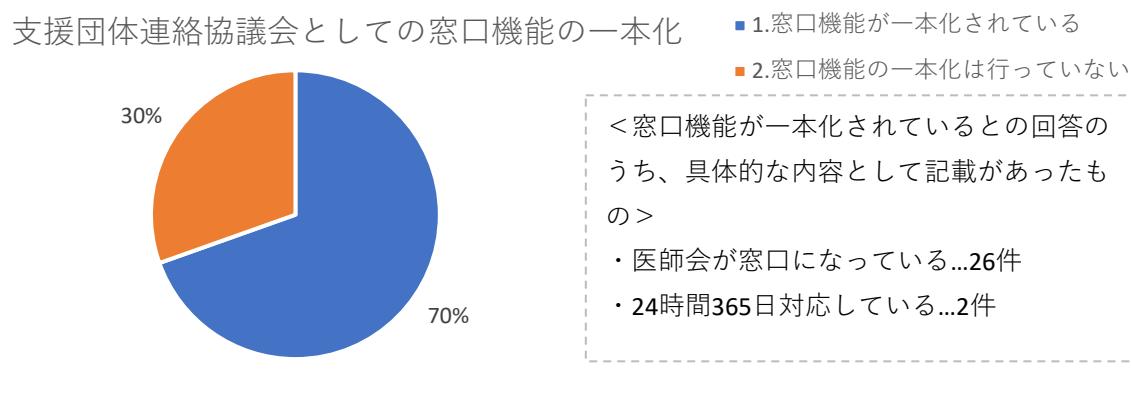


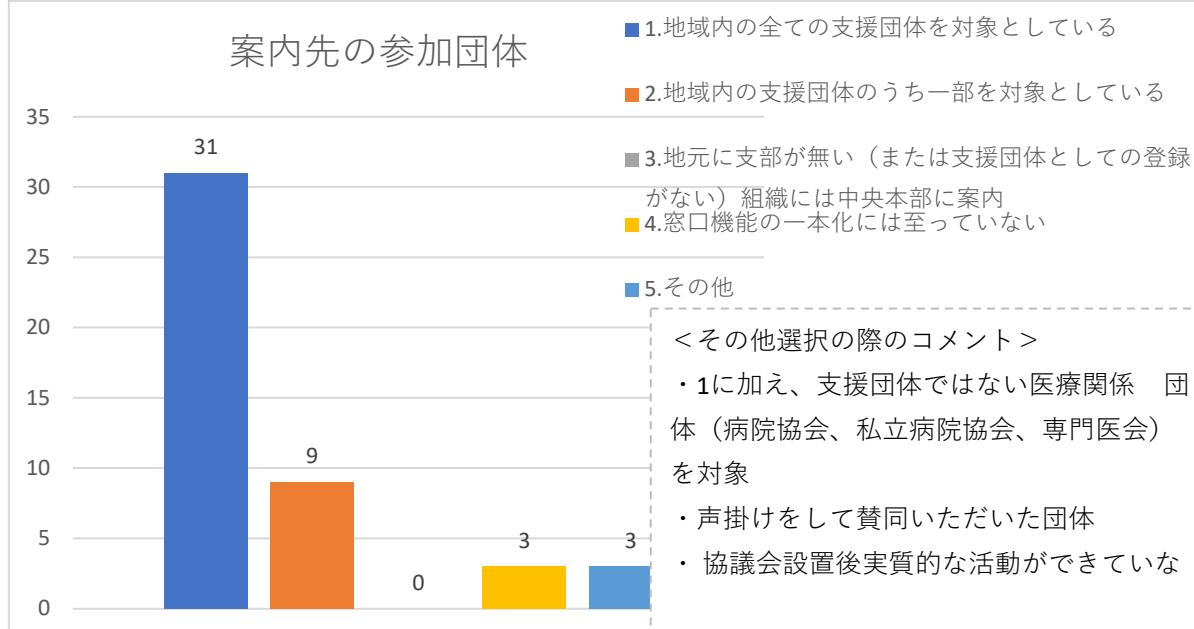
地方医療事故調査等支援団体等連絡協議会集計結果

1.協議会の概要について

③支援団体連絡協議会としての窓口機能の一本化について、以下の 中から当てはまるものを一つご選択ください。	実数	比率
1.窓口機能が一本化されている	32	69.6%
2.窓口機能の一本化は行っていない	14	30.4%
合計	46	100.0%

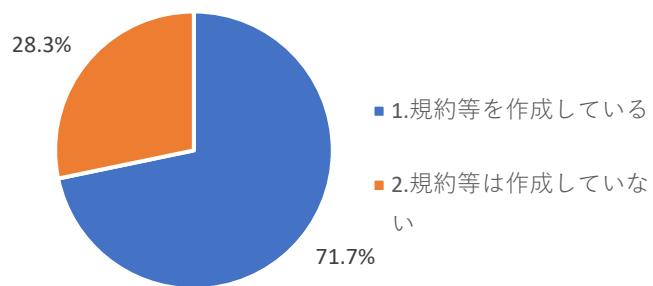


④支援団体連絡協議会開催時の、案内先の参加団体について、当て はまるものを全てご選択ください（複数選択可）。	実数	比率
1.地域内の全ての支援団体を対象としている	31	67.4%
2.地域内の支援団体のうち一部を対象としている	9	19.6%
3.地元に支部が無い（または支援団体としての登録がない）組織には中央本部に 案内	0	0.0%
4.窓口機能の一本化には至っていない	3	6.5%
5.その他	3	6.5%
合計	46	100.0%



⑤協議会の規約、設置規則等について、以下の中から当てはまるものを一つご選択ください。	実数	比率
1.規約等を作成している	33	71.7%
2.規約等は作成していない	13	28.3%
合計	46	100.0%

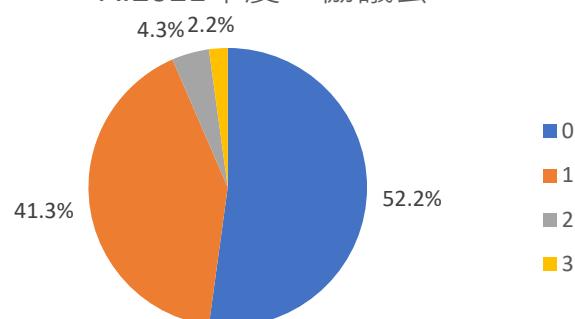
協議会の規約、設置規則等



2.協議会・研修会の開催状況について

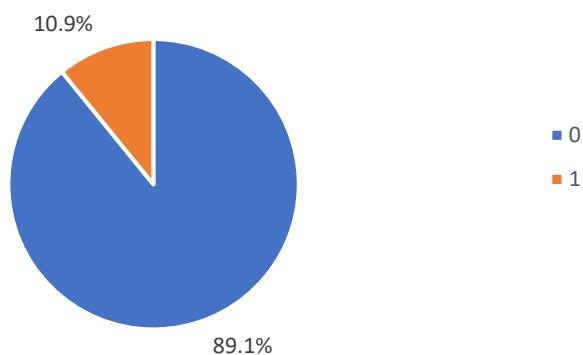
①これまでの開催状況について、協議会・研修会各々について実績をお答えください。 (回数)	実数	比率
A.2021年度：協議会		
0	24	52.2%
1	19	41.3%
2	2	4.3%
3	1	2.2%
合計	46	100.0%

A.2021年度：協議会



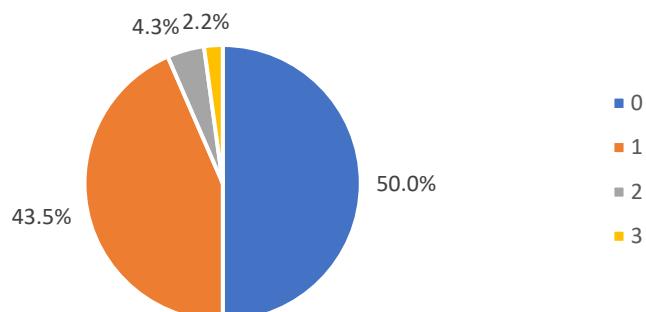
①これまでの開催状況について、協議会・研修会各々について実績をお答えください。（回数）	実数	比率
A.2021年度：研修会		
0	41	89.1%
1	5	10.9%
合計	46	100.0%

A.2021年度：研修会



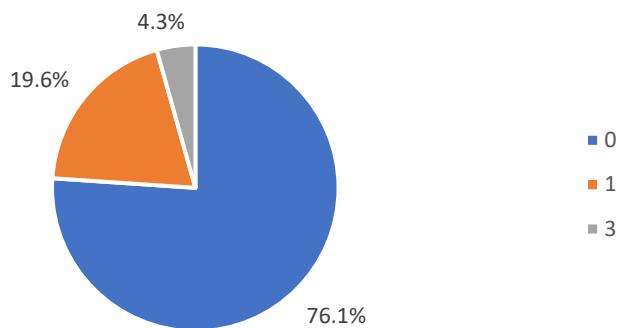
①これまでの開催状況について、協議会・研修会各々について実績をお答えください。（回数）	実数	比率
B.2022年度：協議会		
0	23	50.0%
1	20	43.5%
2	2	4.3%
3	1	2.2%
合計	46	100.0%

B.2022年度：協議会



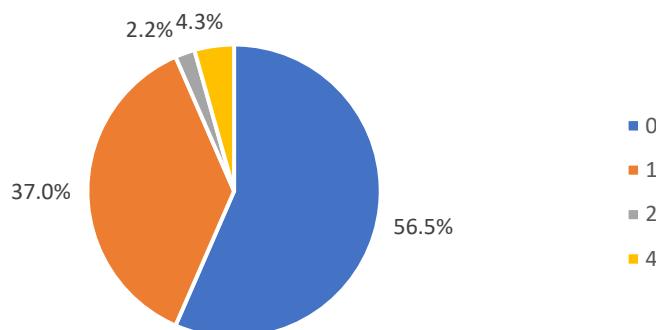
①これまでの開催状況について、協議会・研修会各々について実績をお答えください。（回数）	実数	比率
B.2022年度：研修会		
0	35	76.1%
1	9	19.6%
3	2	4.3%
合計	46	100.0%

B.2022年度：研修会



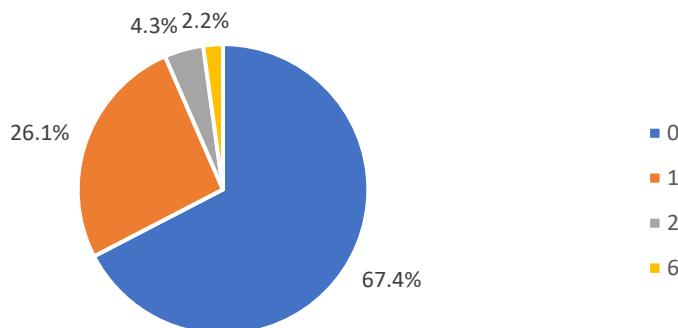
①これまでの開催状況について、協議会・研修会各々について実績をお答えください。（回数）	実数	比率
C.2023年度：協議会		
0	26	56.5%
1	17	37.0%
2	1	2.2%
4	2	4.3%
合計	46	100.0%

C.2023年度：協議会



①これまでの開催状況について、協議会・研修会各々について実績をお答えください。（回数） C.2023年度：研修会	実数	比率
0	31	67.4%
1	12	26.1%
2	2	4.3%
6	1	2.2%
合計	46	100.0%

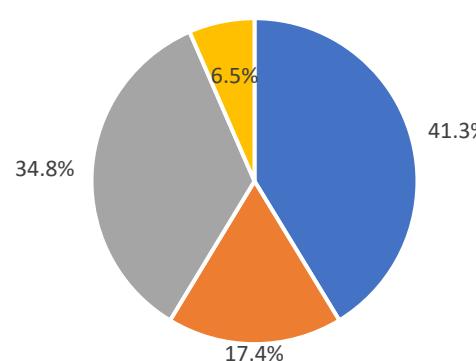
C.2023年度：研修会



3.各都道府県の支援団体の窓口としての活動状況について

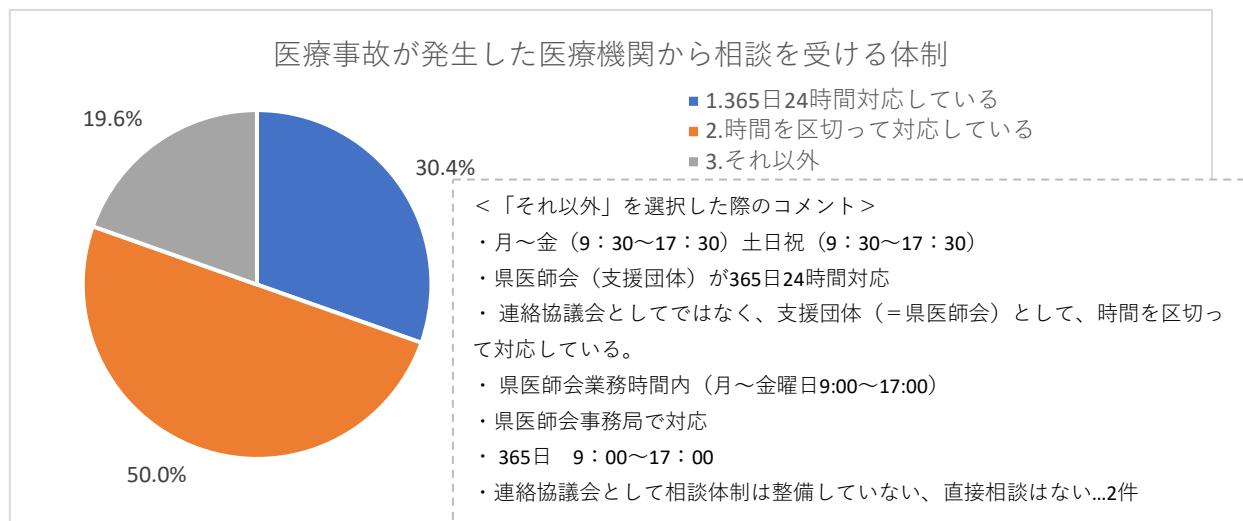
①都道府県内の医療機関が支援を求める場合、支援団体等連絡協議会を通して支援団体に支援が依頼される仕組みになっていますか。当てはまるものを1つご選択ください。	実数	比率
1.支援団体等連絡協議会を通して支援が依頼されることになっている	19	41.3%
2.決められていないが、支援団体等連絡協議会を通して支援が依頼されることのほうが多い	8	17.4%
3.決められていないが、支援団体等連絡協議会を通さず、支援団体に直接依頼されることの方が多い	16	34.8%
4.不明	3	6.5%
合計	46	100.0%

支援団体に支援が依頼される仕組み

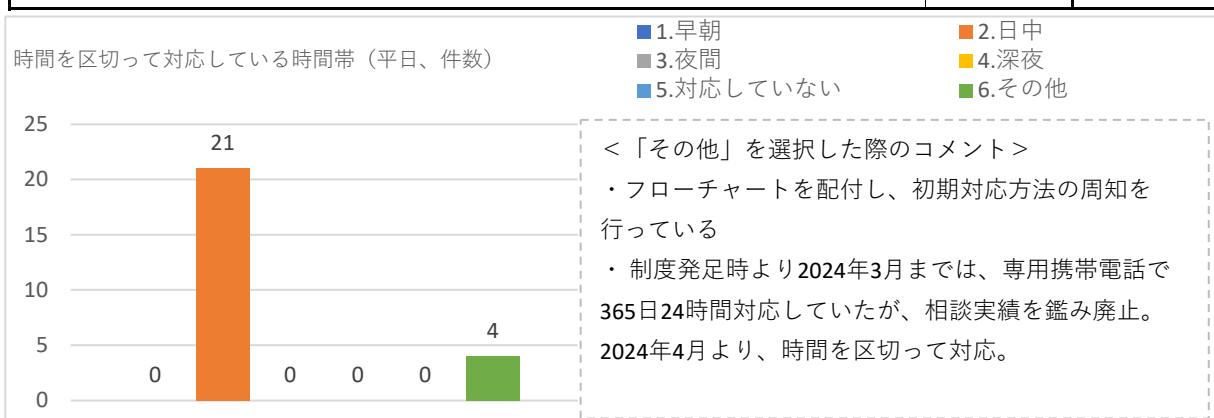


- 1.支援団体等連絡協議会を通して支援が依頼されることになっている
- 2.決められていないが、支援団体等連絡協議会を通して支援が依頼されることのほうが多い
- 3.決められていないが、支援団体等連絡協議会を通さず、支援団体に直接依頼されることの方が多い
- 4.不明

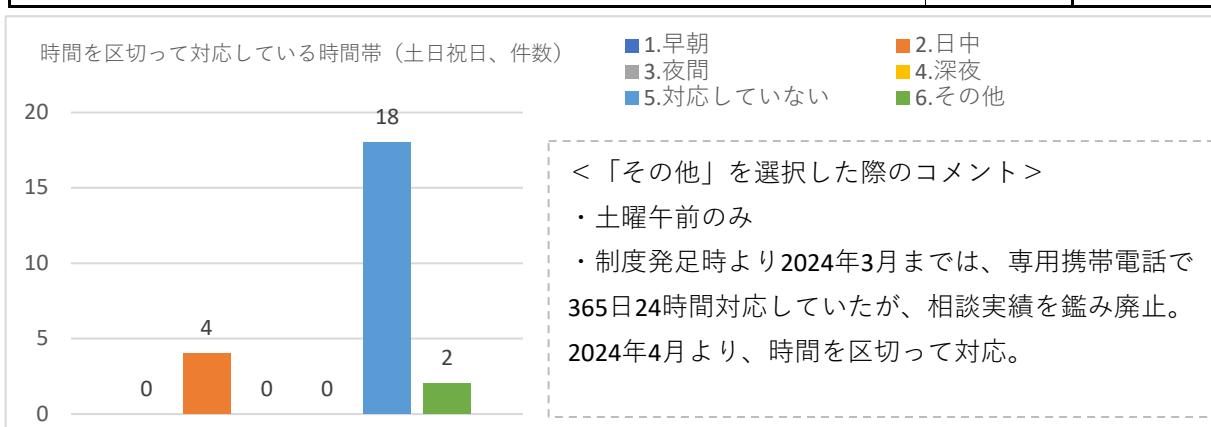
②支援団体等連絡協議会が、医療事故が発生した医療機関から相談（支援団体の紹介の依頼等）を受ける体制において、以下のなかから当てはまるものを1つご選択ください。	実数	比率
1.365日24時間対応している	14	30.4%
2.時間を区切って対応している	23	50.0%
3.それ以外	9	19.6%
合計	46	100.0%



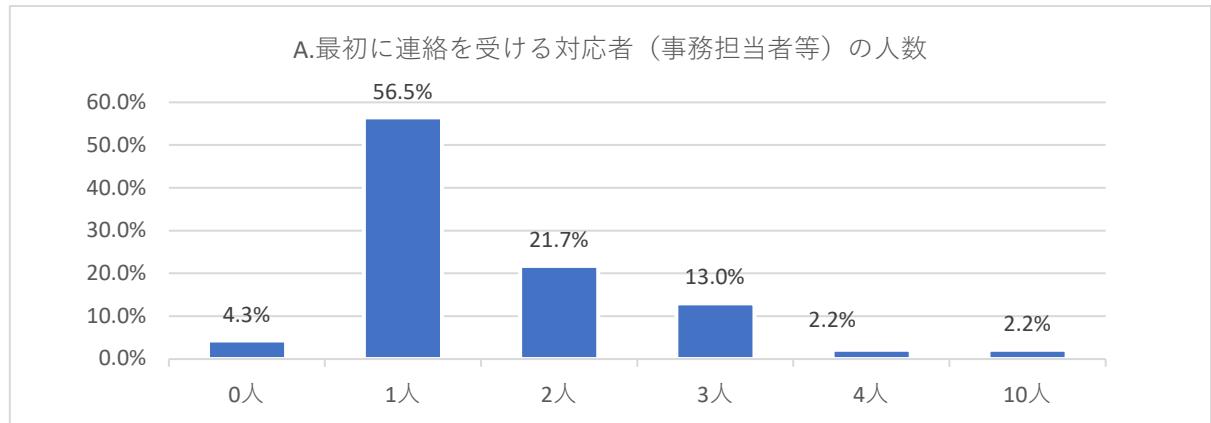
②支援団体等連絡協議会が、医療事故が発生した医療機関から相談（支援団体の紹介の依頼等）を受ける体制において、「2.時間を区切って対応している」対応している時間帯について当てはまるものを全てご選択ください（複数選択可）。	実数	比率
平日		
1.早朝	0	0.0%
2.日中	21	84.0%
3.夜間	0	0.0%
4.深夜	0	0.0%
5.対応していない	0	0.0%
6.その他	4	16.0%
合計	25	100.0%



②支援団体等連絡協議会が、医療事故が発生した医療機関から相談（支援団体の紹介の依頼等）を受ける体制において、「2.時間を区切って対応している」対応している時間帯について当てはまるものを全てご選択ください（複数選択可）。	実数	比率
土日祝日		
1.早朝	0	0.0%
2.日中	4	16.7%
3.夜間	0	0.0%
4.深夜	0	0.0%
5.対応していない	18	75.0%
6.その他	2	8.3%
合計	24	100.0%

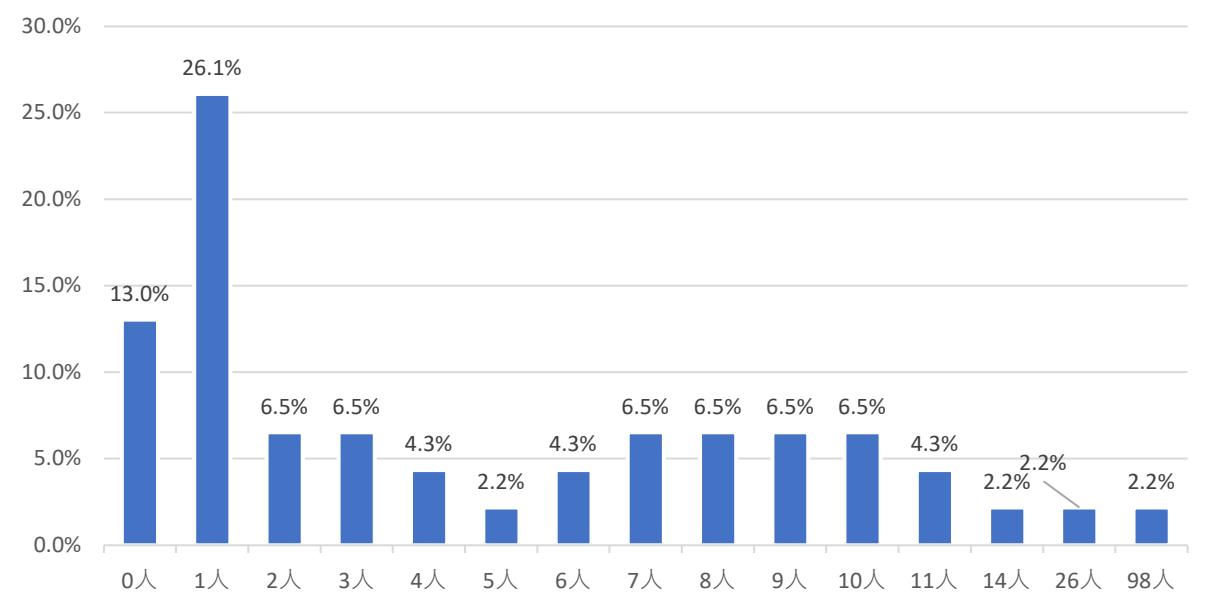


③②の相談を受けるための人員体制について教えてください A.最初に連絡を受ける対応者（事務担当者等）の人数	実数	比率
A.最初に連絡を受ける対応者（事務担当者等）の人数		
0人	2	4.3%
1人	26	56.5%
2人	10	21.7%
3人	6	13.0%
4人	1	2.2%
10人	1	2.2%
合計	46	100.0%



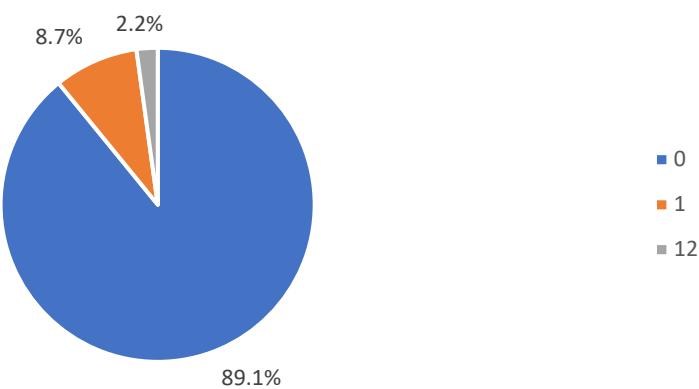
③②の相談を受けるための人員体制について教えてください B.医学的検討等を行う対応者（医療職等）の人数_医師	実数	比率
0人	6	13.0%
1人	12	26.1%
2人	3	6.5%
3人	3	6.5%
4人	2	4.3%
5人	1	2.2%
6人	2	4.3%
7人	3	6.5%
8人	3	6.5%
9人	3	6.5%
10人	3	6.5%
11人	2	4.3%
14人	1	2.2%
26人	1	2.2%
98人	1	2.2%
合計	46	100.0%

B.医学的検討等を行う対応者（医療職等）の人数_医師



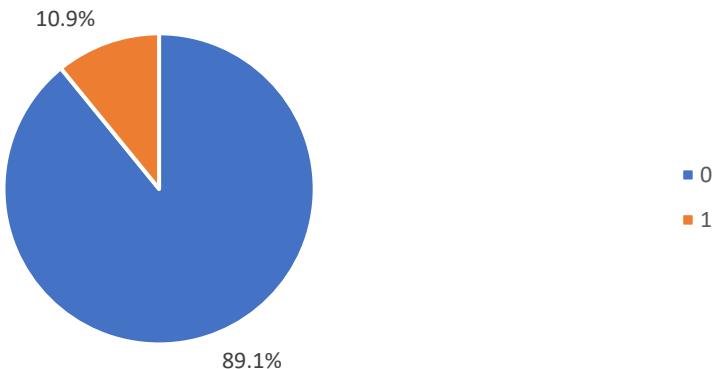
③②の相談を受けるための人員体制について教えてください B.医学的検討等を行う対応者（医療職等）の人数_看護師	実数	比率
0	41	89.1%
1	4	8.7%
12	1	2.2%
合計	46	100.0%

B.医学的検討等を行う対応者（医療職等）の人数_看護師

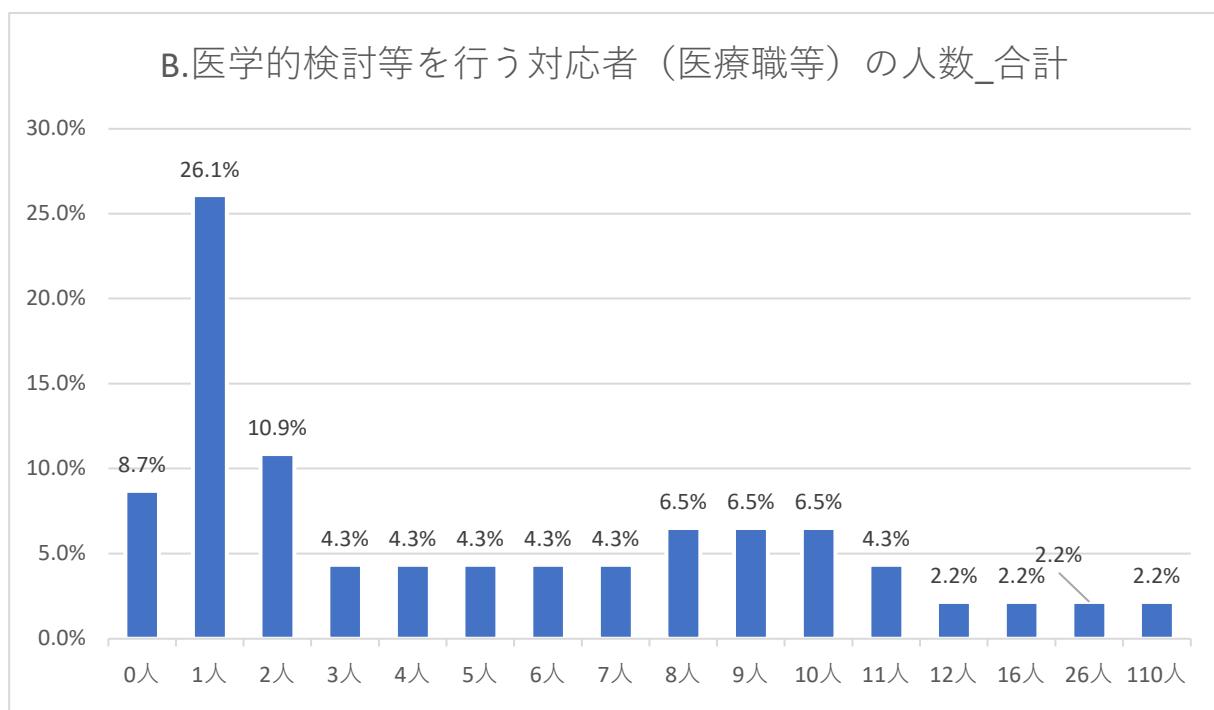


③②の相談を受けるための人員体制について教えてください B.医学的検討等を行う対応者（医療職等）の人数_その他	実数	比率
0	41	89.1%
1	5	10.9%
合計	46	100.0%

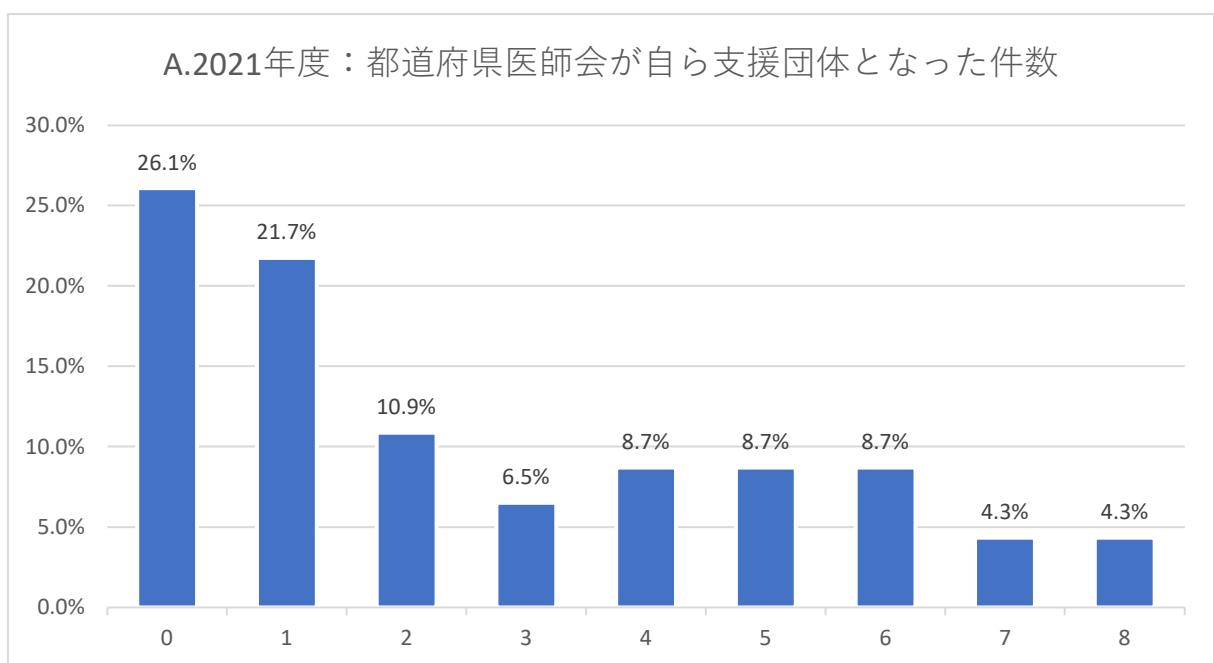
B.医学的検討等を行う対応者（医療職等）の人数_その他



③②の相談を受けるための人員体制について教えてください B.医学的検討等を行う対応者（医療職等）の人数_合計	実数	比率
0人	4	8.7%
1人	12	26.1%
2人	5	10.9%
3人	2	4.3%
4人	2	4.3%
5人	2	4.3%
6人	2	4.3%
7人	2	4.3%
8人	3	6.5%
9人	3	6.5%
10人	3	6.5%
11人	2	4.3%
12人	1	2.2%
16人	1	2.2%
26人	1	2.2%
110人	1	2.2%
合計	46	100.0%

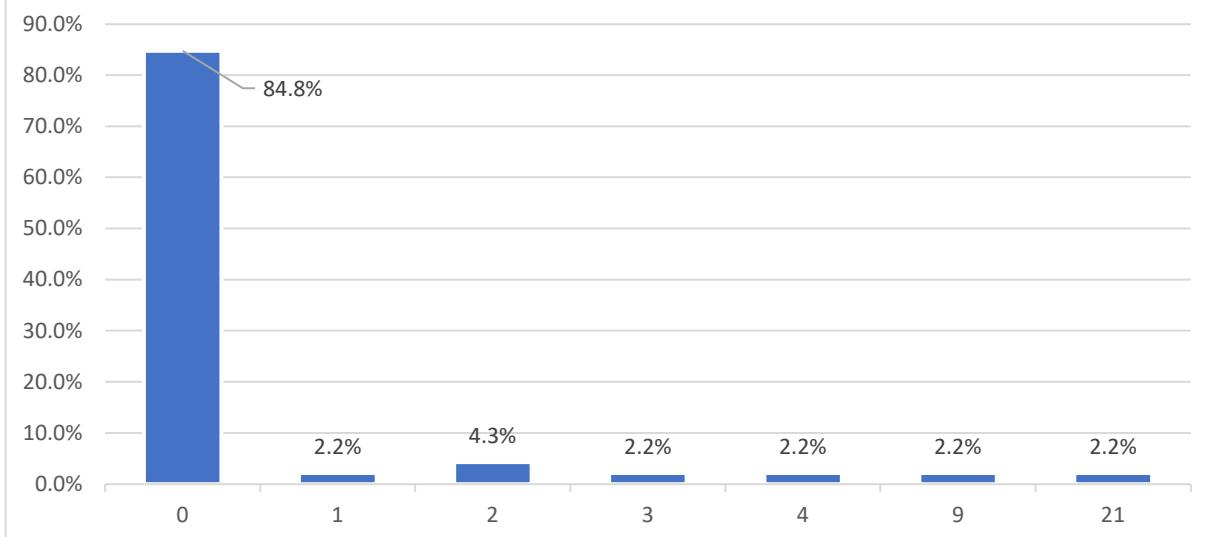


④支援団体等連絡協議会として、医療機関に支援団体を紹介した実績を教えてください ※都道府県医師会が自ら支援団体となった場合、他の支援団体を紹介した場合に分けてお答えください	実数	比率
A.2021年度：都道府県医師会が自ら支援団体となった件数		
0	12	26.1%
1	10	21.7%
2	5	10.9%
3	3	6.5%
4	4	8.7%
5	4	8.7%
6	4	8.7%
7	2	4.3%
8	2	4.3%
合計	46	100.0%

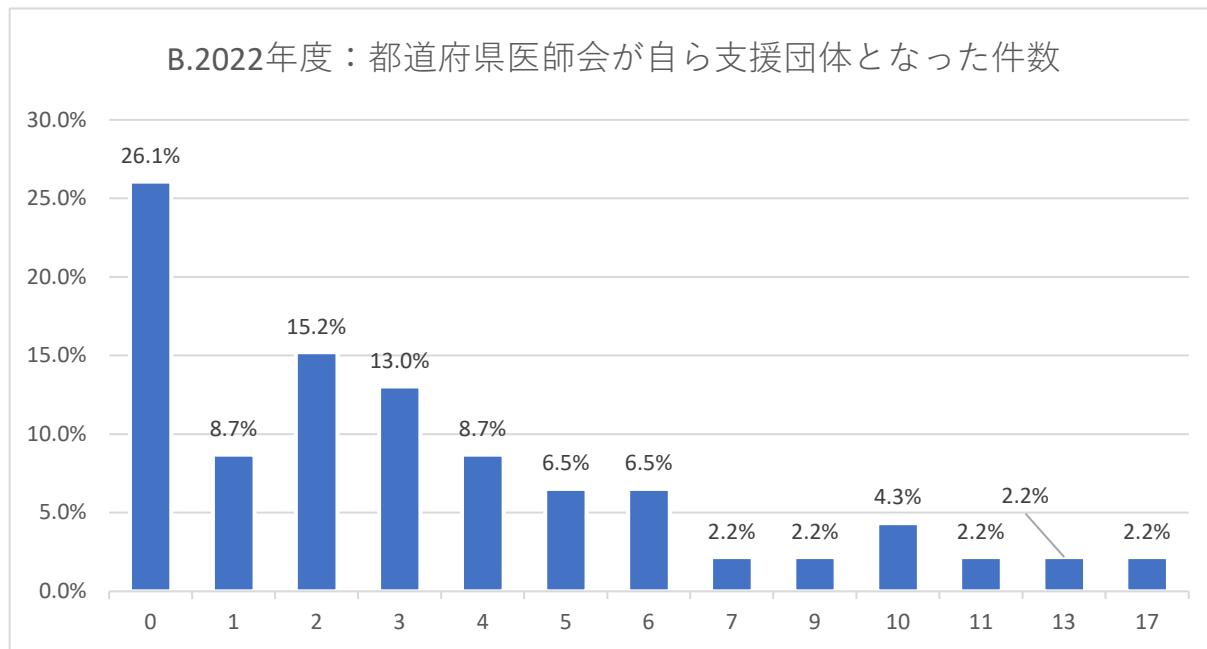


④支援団体等連絡協議会として、医療機関に支援団体を紹介した実績を教えてください ※都道府県医師会が自ら支援団体となった場合、他の支援団体を紹介した場合に分けてお答えください	実数	比率
A.2021年度：他の支援団体を紹介した件数		
0	39	84.8%
1	1	2.2%
2	2	4.3%
3	1	2.2%
4	1	2.2%
9	1	2.2%
21	1	2.2%
合計	46	100.0%

A.2021年度：他の支援団体を紹介した件数

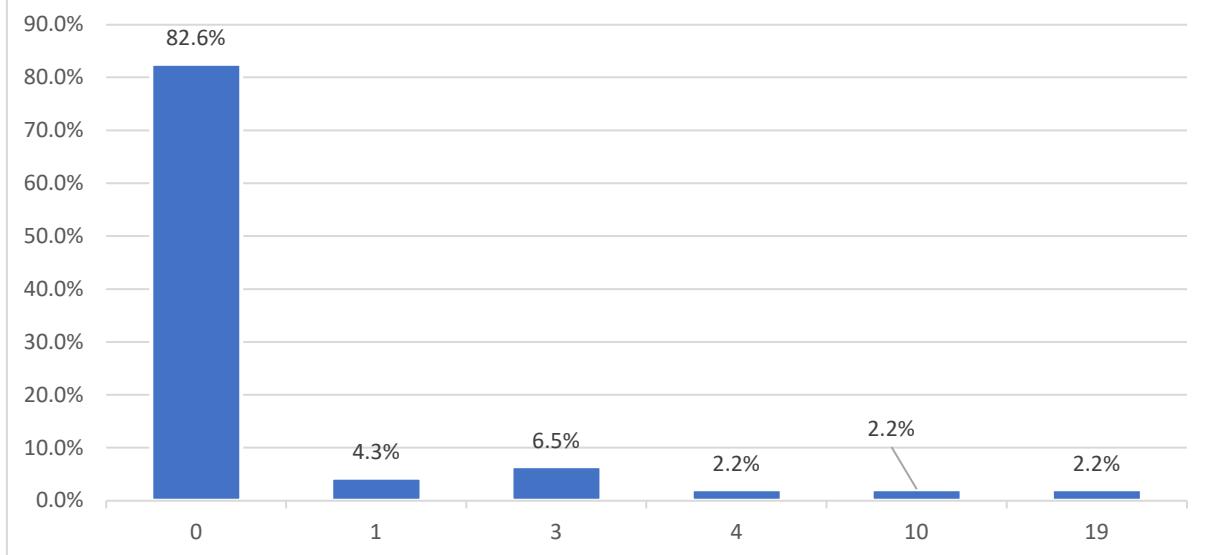


④支援団体等連絡協議会として、医療機関に支援団体を紹介した実績を教えてください ※都道府県医師会が自ら支援団体となった場合、他の支援団体を紹介した場合に分けてお答えください	実数	比率
B.2022年度：都道府県医師会が自ら支援団体となった件数		
0	12	26.1%
1	4	8.7%
2	7	15.2%
3	6	13.0%
4	4	8.7%
5	3	6.5%
6	3	6.5%
7	1	2.2%
9	1	2.2%
10	2	4.3%
11	1	2.2%
13	1	2.2%
17	1	2.2%
合計	46	100.0%

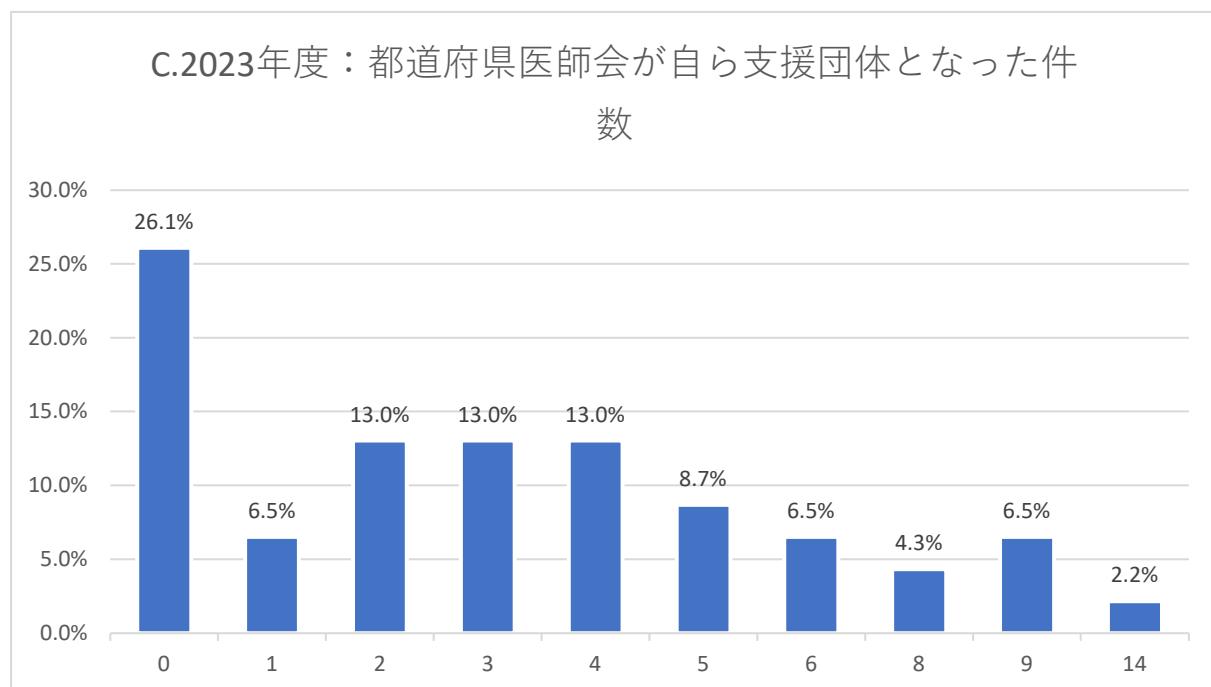


④支援団体等連絡協議会として、医療機関に支援団体を紹介した実績を教えてください ※都道府県医師会が自ら支援団体となった場合、他の支援団体を紹介した場合に分けてお答えください	実数	比率
B.2022年度：他の支援団体を紹介した件数		
0	38	82.6%
1	2	4.3%
3	3	6.5%
4	1	2.2%
10	1	2.2%
19	1	2.2%
合計	46	100.0%

B.2022年度：他の支援団体を紹介した件数

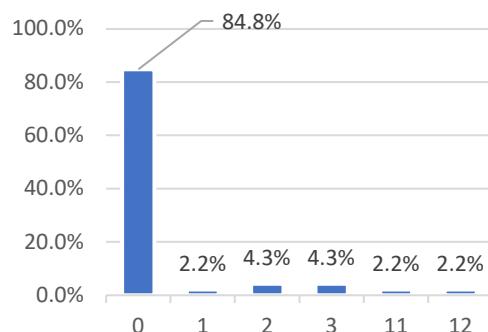


④支援団体等連絡協議会として、医療機関に支援団体を紹介した実績を教えてください ※都道府県医師会が自ら支援団体となった場合、他の支援団体を紹介した場合に分けてお答えください	実数	比率
C.2023年度：都道府県医師会が自ら支援団体となった件数		
0	12	26.1%
1	3	6.5%
2	6	13.0%
3	6	13.0%
4	6	13.0%
5	4	8.7%
6	3	6.5%
8	2	4.3%
9	3	6.5%
14	1	2.2%
合計	46	100.0%



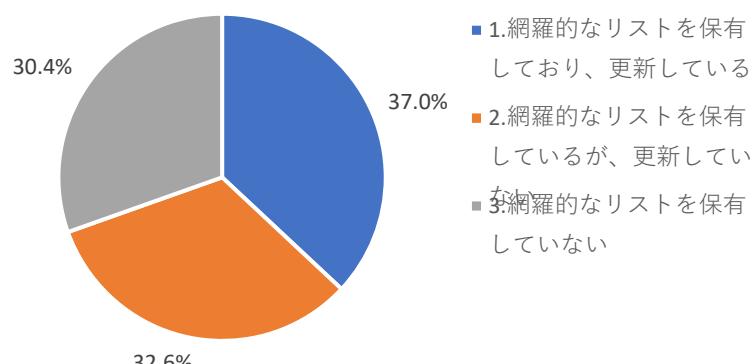
④支援団体等連絡協議会として、医療機関に支援団体を紹介した実績を教えてください ※都道府県医師会が自ら支援団体となった場合、他の支援団体を紹介した場合に分けてお答えください	実数	比率
C.2023年度：他の支援団体を紹介した件数		
0	39	84.8%
1	1	2.2%
2	2	4.3%
3	2	4.3%
11	1	2.2%
12	1	2.2%
合計	46	100.0%

C.2023年度：他の支援団体を紹介した件数



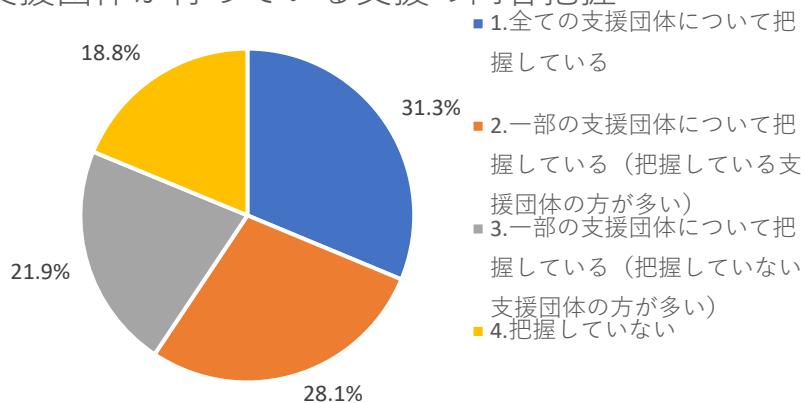
⑤支援団体等連絡協議会において、都道府県内の支援団体のリスト（網羅的なもの）を管理していますか。以下の中から当てはまるものを1つご選択ください。	実数	比率
1.網羅的なリストを保有しており、更新している	17	37.0%
2.網羅的なリストを保有しているが、更新していない	15	32.6%
3.網羅的なリストを保有していない	14	30.4%
合計	46	100.0%

都道府県内の支援団体のリスト管理



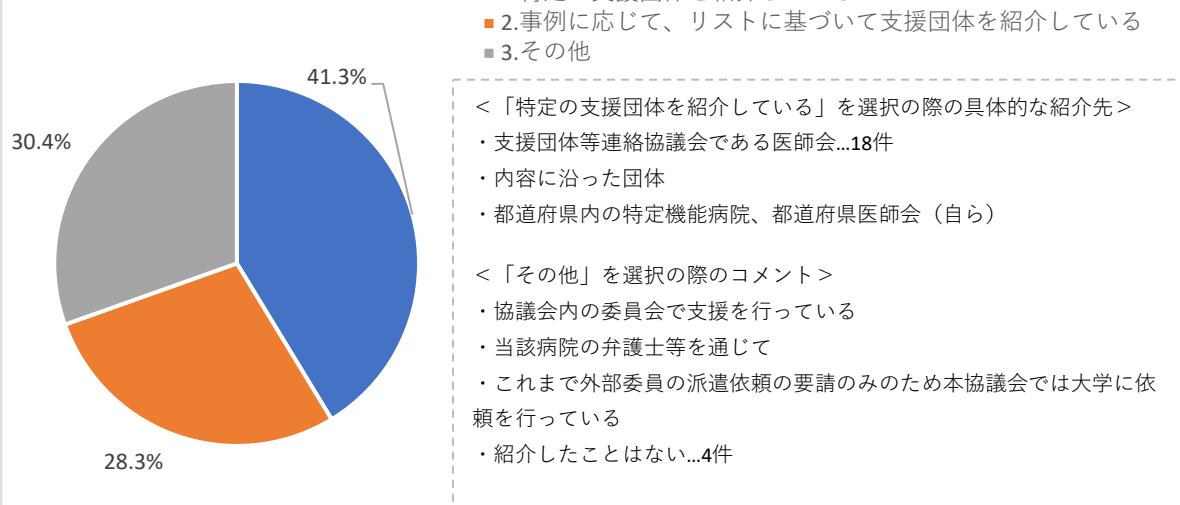
⑥⑤で支援団体の網羅的なリストを保有している場合、それぞれの支援団体が行っている支援の内容（医療事故の判断の助言、院内調査・報告書作成の全般的な支援、当該事例に関わる領域の外部委員の派遣、病理解剖の実施、Aiの実施等）を把握していますか。当てはまるものを選択してください	実数	比率
1.全ての支援団体について把握している	10	31.3%
2.一部の支援団体について把握している（把握している支援団体の方が多い）	9	28.1%
3.一部の支援団体について把握している（把握していない支援団体の方が多い）	7	21.9%
4.把握していない	6	18.8%
合計	32	100.0%

支援団体が行っている支援の内容把握



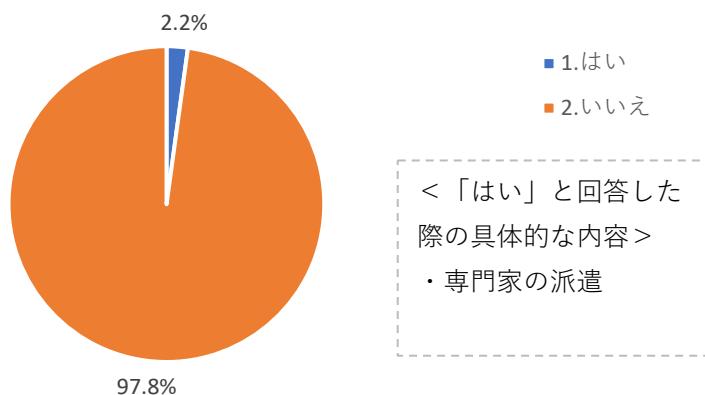
⑦支援団体等連絡協議会として医療機関に支援団体を紹介する場合、どのように支援団体を選定していますか。当てはまるものを選択してください	実数	比率
1.特定の支援団体を紹介している	19	41.3%
2.事例に応じて、リストに基づいて支援団体を紹介している	13	28.3%
3.その他	14	30.4%
合計	46	100.0%

支援団体を紹介する場合の選定方法



⑧他の都道府県の支援団体等連絡協議会と、支援団体の紹介に関する連携をしていますか	実数	比率
1.はい	1	2.2%
2.いいえ	45	97.8%
合計	46	100.0%

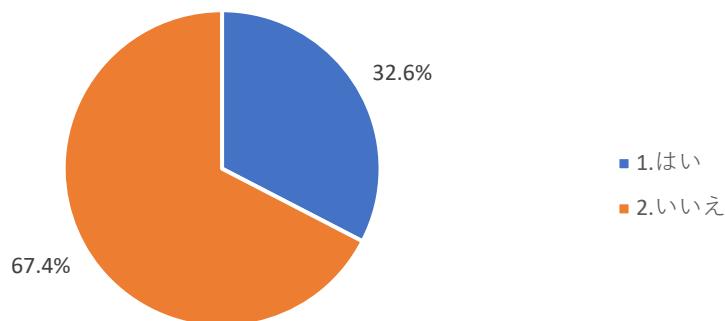
支援団体の紹介に関する連携



4. 支援団体を紹介した後のフォローアップについて

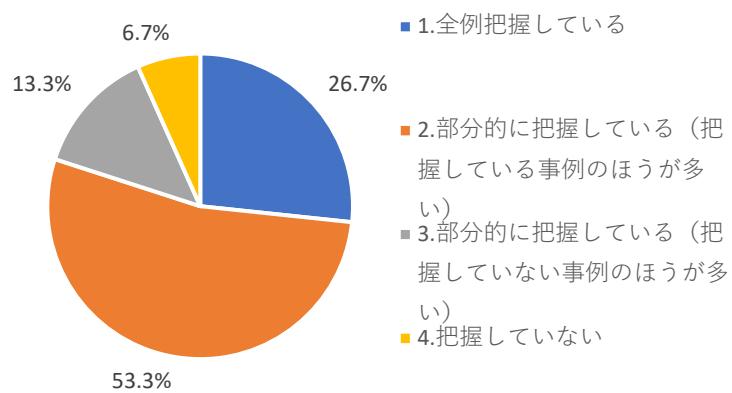
⑩支援団体等連絡協議会として医療機関に支援団体を紹介した事例について、その後のフォローアップをしていますか	実数	比率
1.はい	15	32.6%
2.いいえ	31	67.4%
合計	46	100.0%

支援団体を紹介した後のフォローアップ



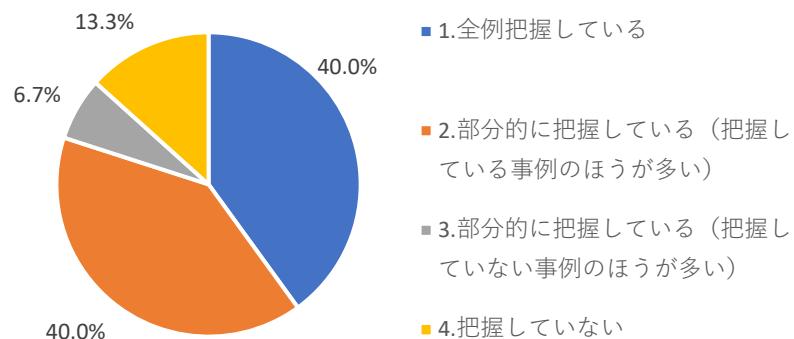
(11)-1 支援団体が医療事故判断の助言をした場合、その後、センターに医療事故として報告されたかについて当てはまるものを1つご選択ください	実数	比率
1.全例把握している	4	26.7%
2.部分的に把握している（把握している事例のほうが多い）	8	53.3%
3.部分的に把握している（把握していない事例のほうが多い）	2	13.3%
4.把握していない	1	6.7%
合計	15	100.0%

センターに医療事故として報告されたかについて

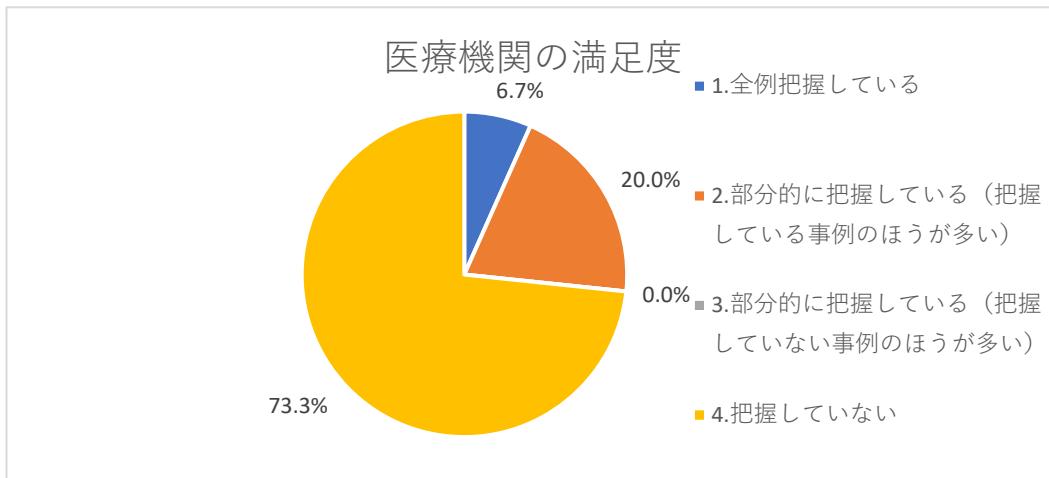


(11)-2 支援団体が院内調査・報告書作成全般の支援をした場合、最終的な報告書の内容について当てはまるものを1つご選択ください	実数	比率
1.全例把握している	6	40.0%
2.部分的に把握している（把握している事例のほうが多い）	6	40.0%
3.部分的に把握している（把握していない事例のほうが多い）	1	6.7%
4.把握していない	2	13.3%
合計	15	100.0%

最終的な報告書の内容について



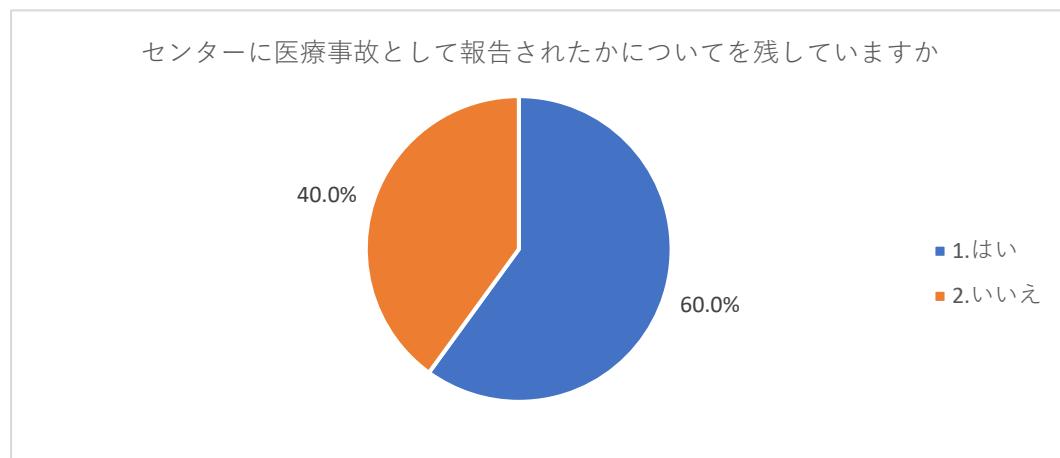
(11)-3 支援団体が提供した支援に関する、医療機関の満足度について 当てはまるものを1つご選択ください	実数	比率
1.全例把握している	1	6.7%
2.部分的に把握している（把握している事例のほうが多い）	3	20.0%
3.部分的に把握している（把握していない事例のほうが多い）	0	0.0%
4.把握していない	11	73.3%
合計	15	100.0%



⇒ 上記設問⑪-1～⑪-3のほかに行っているフォローアップ内容として記載があったもの

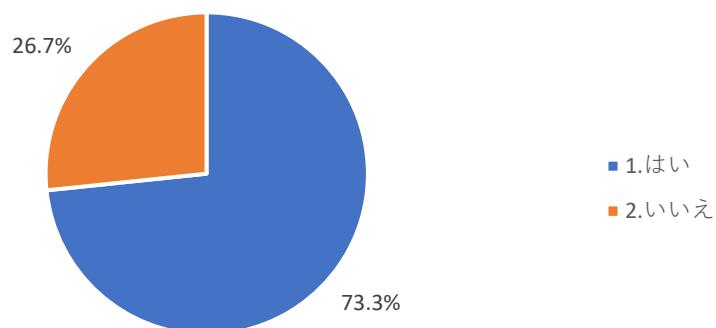
- 専門医の選定
- センター報告日の確認 報告書（案）の作成に係る進捗、支援の要否の確認、報告書の遺族説明対応の確認
- 県医師会医療事故調査支援委員会との合同協議会にて意見交換

(12).⑪-1支援団体が医療事故判断の助言をした場合、その後、センターに医療事故として報告されたかについて記録を残していますか	実数	比率
1.はい	9	60.0%
2.いいえ	6	40.0%
合計	15	100.0%



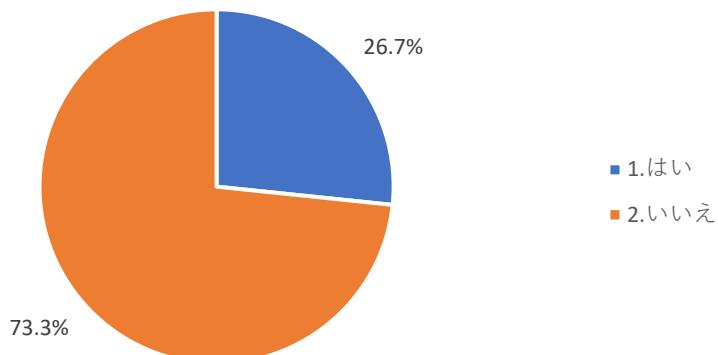
(12).⑪-2支援団体が院内調査・報告書作成全般の支援をした場合、最終的な報告書の内容について記録を残していますか	実数	比率
1.はい	11	73.3%
2.いいえ	4	26.7%
合計	15	100.0%

最終的な報告書の内容について記録を残していますか

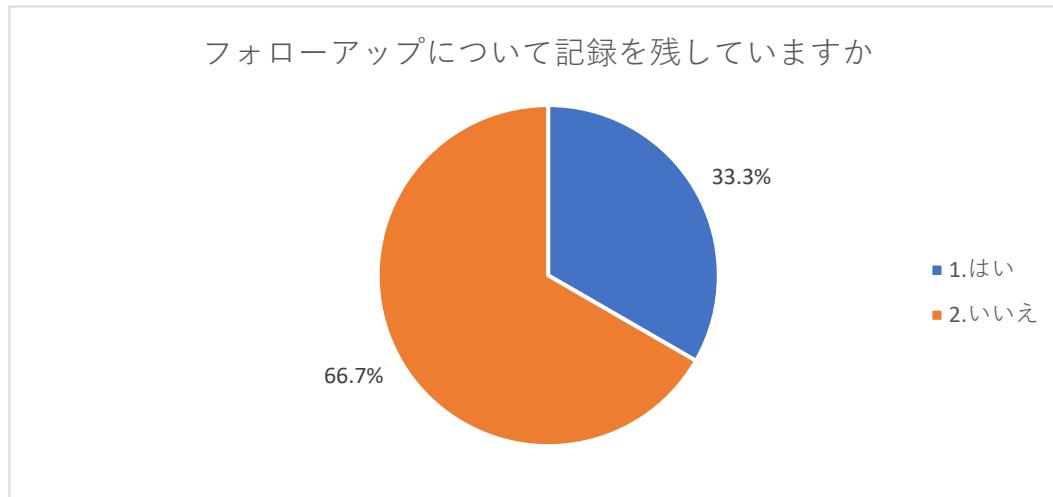


(12).⑪-3支援団体が提供した支援に関する、医療機関の満足度について記録を残していますか	実数	比率
1.はい	4	26.7%
2.いいえ	11	73.3%
合計	15	100.0%

医療機関の満足度について記録を残していますか



(12.(11)-4その他に行っているフォローアップについて記録を残していますか	実数	比率
1.はい	5	33.3%
2.いいえ	10	66.7%
合計	15	100.0%



(巻末資料 2-1)

2. 協議会・研修会の開催状況について

②直近の協議会・研修会の議題・テーマについての具体的記載内容

A. 協議会

- ・院内調査のすすめ方について
- ・協議内容（医療事故調査制度に関するシンポジウムについて、令和6年度 医療事故調査制度支援事業（県委託事業）について）
- ・医療事故調査等支援団体活動状況について
- ・県における医療事故調査の現状と課題
- ・センター調査の現状と課題
- ・報告事項（1）令和5年度 第2回 協議会後の参画団体について
（2）令和6年度（令和5年11月1日～令和7年1月10日）の支援状況について
（3）死亡時画像診断（Ai）研修会及び民間のAi撮影施設の案内について
（4）令和6年度 医療事故調査制度研修会について
- 協議事項（1）次回の医療事故調査制度研修会の開催について
- ・都道府県別医療事故件数について、医療事故調査制度の現況について
- ・医療事故調査制度の現在の状況とその問題点 等
- ・医療事故調査等支援団体連絡協議会の今後の運営について
- ・県医療事故調査等支援団体連絡協議会設置要綱（案）について、各団体の支援状況・支援内容について、情報共有事項について
- ・医療事故調査支援センターの現況報告及び県医療事故調査支援委員会の支援状況について
- ・医療事故調査等支援団体連絡協議会の活動状況について（新規案件の支援状況など）、医療事故調査制度に係る解剖・Aiの受入れ可否についてのアンケート実施について、医療事故調査制度に関する研修会について
- ・県下の状況、院内調査報告書作成等について、質疑応答
- ・医療事故調査制度の現在の状況とその問題点 等
- ・外部専門委員について
- ・医療事故調査制度に関する経過報告等
- ・1 医療事故調査制度における病理、Ai業務について
2 相談・医療事故報告の状況について
3 各支援団体の取り組み状況と課題について
- ・医療事故調査制度の現況について
- ・県における医療事故調査等支援団体の活動状況について

- ・県内における医療事故調査制度の現況について
- ・研修医に対する医療メディエーター研修入門編の受講について
- ・医療事故調査・支援センターの活動報告について
- ・医療事故調査制度の現況報告について、支援団体の活動に関する課題について
- ・全国および県内における報告件数について他
- ・支援状況とその対応
- ・県内の医療事故調査の現況および実施医療機関アンケートの調査結果について
- ・各支援団体の支援状況について
- ・医療事故調査制度の最近の話題
 - ・1. 支援団体について
 - 2. ドキュメントの紹介
 - 3. 初期対応トレーニング教材の紹介
- ・活動、実績、現況、事例の報告…4件
- ・開催していない…10件
- ・直近で開催していない
- ・検討予定

B. 研修会

- ・医療事故における事例検討と報告書作成を支援する
- ・「医療事故調査がもたらすもの」「医療安全施策の最近の動向」
- ・医療事故調査制度の現状について
- ・医療事故調査が必要になった場合の医療安全に携わる管理者としての対応（実施主体：看護協会）、医療事故調査制度事例を基にしたケーススタディ（実施主体：県医師会）
- ・当院の医療安全の取り組みー報告書確認システムを導入してー
- ・プログラムより制度についての解説/都の実績報告/解剖/法律など

【基礎編（講演）】 1 医療事故報告における判断 ーどの事例を届け出るのか？ー
 2 医療事故調査制度と医師法21条、
 3 県医師会及び県医療事故調査等支援団体連絡協議会における
 支援体制、【調査報告書作成編（グループワーク）】テーマ：院
 内調査における報告書の作成 ー臨床経過に関する検証・分析か
 ら再発防止策へー

- ・チーム医療と医療安全
- ・医療事故調査制度について～施行から8年経過した制度を再認識しましょう～

- ・「医療事故調査制度に関する研修会」をWEB研修（動画配信）にて開催予定。対象は、主に医療機関の管理者（病院長等）、院内で医療事故調査に携わる医療従事者など会員医療機関の従事者とする。プログラムは下記のとおり。
 1. 事故調支援委員会の支援状況：事故調査制度に係る現状と課題
 2. 医療事故調査制度下での解剖および死後画像診断の体制
 3. 医療事故調査制度に関する基本的知識
 4. 学習を目的とした医療事故調査の方法
 5. 医療事故調査と紛争解決
- ・改めて医師法21条を考える 一異状死と異状死体一
- ・医療安全・医療事故防止研修会
- ・医療事故におけるAiの活用
- ・1 医療事故調査制度の現状と課題 2 医療事故調査制度における管理者の責務
- ・医療事故調査について一院内・院外医療事故調査の経験から一
- ・医療事故調査制度と医療訴訟について
- ・県における医療事故調査への取り組み
- ・今後施行される医療事故調査制度で運用上留意すべき点について
- ・医療安全における診療録・看護記録の重要性
- ・医療事故調査制度の現状について
- ・医療事故調査の経験
- ・医療DXを取り巻く環境 等…2件
- ・開催していない…20件
- ・直近で開催していない…3件

3. 各都道府県の支援団体の窓口としての活動状況について

⑨支援団体を紹介する業務について、工夫していること（十分な人員体制の確保が難しい中で対応するための工夫等）や課題について（自由記載欄）

- ・窓口を一本化しているため、何かあれば医師会に連絡すればよいという事になっている点ではいいと思うが、逆に医師会がほぼ単独で行っている状態になっているので他の支援団体があまり機能していない。
- ・原則的に県医師会が対応しており、外部委員の推薦依頼等他の支援団体に協力を依頼している。
- ・課題：県外の医療機関に所属する専門家の派遣要請への対応。近隣の府県の地方支援団体等連絡協議会との連携について、具体的な協議が出来ていない。
- ・外部委員の派遣について、出身大学や科目について速やかに調整できない事がある。

4. 支援団体を紹介した後のフォローアップについて

⑬支援団体紹介後のフォローアップについて、工夫していることや課題について（自由記載欄）

- ・県においては、院外委員側で案件ごとの専門医を選任し、また院内医療事故調査委員会の委員長、副委員長、報告書作成者も院外委員から選定するので、第三者的な目線で調査を進めることができている。

また、案件ごとの専門医を選定する際に県医師会で立ち上げた支援委員会や県内で構成している支援団体からではなく、案件に適した医師個人を選定する傾向にあるので、支援委員会や支援団体があまり機能していないことが課題となっている。"

- ・①支援受付後、遺族説明例やセンターへの報告に係る様式のほか、各種手引きなどの参考資料一式を送付している。報告書（案）の作成に難航されているようであれば、進捗状況や支援の要否を確認し、依頼いただければ報告書作成の支援を行うことをお伝えしている。

②外部専門家の派遣後の謝金旅費を支援団体を経由して対応しており、医療機関の専門家への謝金等の支払いに係るマイナンバーの取得や支払調書の作成の業務を請け負っている。

③診療所の事例では、支援団体がセンターへの発生報告から、事実経過一覧表の作成、報告書（案）作成、センター報告、遺族対応まで一連の業務に深く携わっている。"

- ・出来る限り、院内調査委員会へオブザーバーとして担当事務局が参加できるように調整している。

その他、協議会や研修における工夫や課題も含めてご意見があればご記載下さい（自由記載欄）

- ・他県がどのような内容の研修会を行っているのか、本県ではなかなか研修会内容の案が出てこなくなっているので、伺いたい。

①日本専門医機構からの依頼事項である専門医の認定証について、医療機関の負担軽減のため、支援団体で認定証の様式を作成し、医療機関に返信用封筒を同府のうえ押印依頼をし、支援団体から各専門医に認定証を送付している。

②日医事故調費用保険の対象医療機関の拡充を要望（上限額を下げ、現在、200床までとなっている病床制限をなくす等）

③協議会主催の研修会の経費助成の通知を年度当初に行っていただきたい。（通知時期：令和5年度は12月、令和6年度は1月）"